

第26回近畿地区生協・行政合同会議が福井県で開催されました。

今年度の近畿地区生協・行政合同会議は、福井が当番県連となり、2014年11月21日（金）、福井県商工会議所・コンベンションホールにて、「地域・行政とのネットワークでくらしの安心づくり」をテーマに開催されました。

厚生労働省近畿厚生局健康福祉部長様をはじめ、日本生協連、消費者支援機構関西、京都府、兵庫県、大阪府、滋賀県、奈良県、和歌山県、福井県の各行政担当、各府県生協連の役職員42名が、出席されました。

福井県生協連・野尻郁智副会長理事の司会によりすすめられ、まず兵庫県生協連（近畿地区生協府県連協議会代表）・本田英一会長理事、福井県安全環境部・櫻本宏部長が、開会のあいさつをのべました。厚生労働省近畿厚生局健康福祉部・野本宏部長から、組合運営にかかわる各種規約・規則等の整備改善などについての指摘と報告があり、日本生協連渉外広報本部渉外部・松本圭司部長より全国の生協の取り組みについての報告がありました。

また、特別報告として福井弁護士会の島田広弁護士から「みんなでづくり、動かす 消費者市民社会」をテーマにご講演をいただきました。

その他活動報告として、①京都府消費生活安全センター・竹田厚子副センター長より「京都府における消費者教育の取り組み」②大学生協阪神事業連合理事会室・隅田幸博専務理事スタッフより「大学生によるくらしのヤングクリエイターの取り組みについて」③福井県安全環境部循環社会推進課・川寄昭子主任より「おいしいふくい食べきり運動」について④適格消費者団体 特定非営利法人 消費者支援機構関西 検討委員会委員長の五條操弁護士より「消費者支援機構関西（KC's）の活動報告～集団的消費者被害救済制度の動向～」をいただき、各報告への質疑応答と意見交換をしました。



▲兵庫県生協連 本田英一会長理事



▲福井県安全環境部 櫻本宏部長



▲厚生労働省近畿厚生局 野本宏健康福祉部長



▲福井弁護士会 島田広弁護士



▲福井県安全環境部循環社会推進課 川寄主任